

豊橋市のごみ減量に関する  
取り組みについて

## 1. 現状認識

本市における今後の課題①～⑤の対応としては、「もやすごみの減量」と「ごみとして排出されているものの資源化」に対する取り組みをいかに推進するかが重要となります。

まず、豊橋市のごみの減量については概ね目標を達成しています。しかし、課題②, ③, ⑤の達成に向けては更なるごみ減量が必要と言えます。

一方で、リサイクル率は目標については達していないこと、また、リサイクル率の向上に向けた資源化が、もやすごみの減量にもつながることから、リサイクル率の向上を喫緊の課題と捉えています。

【参考】(第1回検討委員会 資料3より抜粋)

○ 豊橋市における課題

- ① リサイクル率の向上
- ② 焼却炉更新に向けた更なるごみ減量
- ③ ごみ処理経費の削減
- ④ 古紙の回収量増加に向けた方策
- ⑤ 最終処分場の延命化

## 2. リサイクル率向上に向けて

もやすごみの4割は、分別することで本来リサイクルできる資源であると推察しており、平成30年度は生ごみ7,600t、古紙11,600t(うち雑がみ7,000t)、プラマークごみ・ペットボトル1,500tがもやすごみとして排出され、焼却処理されたと考えています。

もやすごみとして排出される資源が適切に分別され、資源化できれば、もやすごみの減量とリサイクル率の目標達成の両方に有効と考えています。

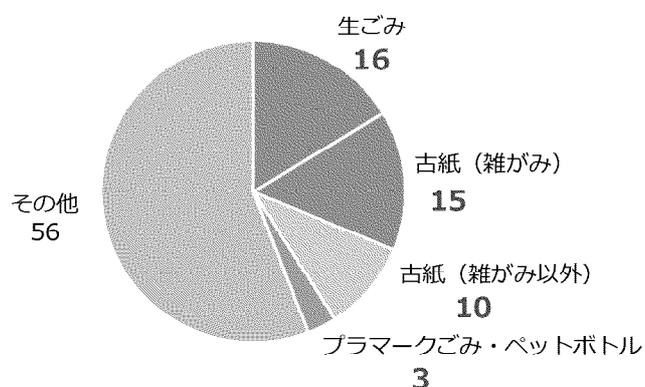


Fig.1 平成30年度もやすごみの分別状況 (%)

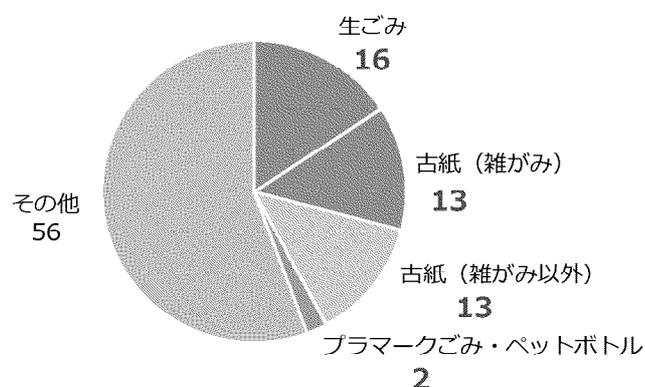


Fig.2 平成29年度もやすごみの分別状況 (%)

### 3. 現在までの取り組み

ごみの減量とリサイクルの推進に向け、広報とよはしを通じた情報発信による啓発やイベントを通じた体験による啓発、地域資源回収奨励金を通じた活動の活性化など様々な事業に取り組んでいます。

啓発	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政記者などメディアへの報道発表（定例記者会見、お知らせタイムなど）</li> <li>・ 多言語対応チラシの全戸配布（広報とよはし同時）や組回覧</li> <li>・ 広報とよはしへの記事掲載</li> <li>・ FM とよはしでの呼びかけ</li> <li>・ ホームページへの様々な情報の掲載</li> <li>・ ごみ分別促進アプリ（多言語対応）の配信と同アプリのお知らせ機能活用</li> <li>・ 電子掲示板（駅前）による情報の常時放送</li> <li>・ スーパーやごみステーションでの街頭啓発によるチラシ配布</li> <li>・ 家庭ごみガイドブックの全戸配布（新聞折り込み）と転入者への随時配布</li> </ul>
	体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントへのブース出展（豊橋まつり、歩行者天国など）</li> <li>・ イベントの開催（環境フェスタ、リサイクル工作、再生家具販売）</li> <li>・ 講座、講習会の開催（未就学児向け、小学生向け、一般向け）</li> <li>・ 施設見学会の開催（全年齢向け）</li> </ul>
活動の活性化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源回収奨励金の交付（古紙回収量 1 kgあたり 5 円）</li> <li>・ 地域資源回収実施日程の取りまとめと情報発信（ホームページ、アプリ）</li> <li>・ 地域資源回収実施団体への手引きの送付（毎年年度初め）</li> <li>・ 雑がみ分別お試し袋の配布（幼・保・こども園児、小中学生、イベント来場者）</li> <li>・ 資源物回収ボックスの貸与</li> <li>・ 自治連合会への地域資源回収活性化の依頼と実務支援の提案</li> <li>・ 小中学校への地域資源回収活性化の依頼</li> </ul>

## 4. 古紙のリサイクル状況

近年のリサイクル量の変化を、生ごみ、古紙、びん、金属などの品目ごとに見ると、デジタル化や民間古紙回収拠点の普及を背景とした古紙回収量の減少が顕著で、特に、地域資源回収の古紙回収量が大幅に減っています。

また、古紙は他の資源と異なり、ごみステーションでの行政回収を実施しておらず、地域資源回収が最大の回収方法である点に特徴があります。

ごみステーションでの行政回収が無い古紙の最大のリサイクル方法である地域資源回収は、古紙の回収量が減っているものの、実施団体や回数は増えており、依然として最も有効な古紙のリサイクル方法であると言えます。

一方で、実施方法に地域ごとの差があり、頻度が少ない、持ち出し場所が遠いといった声が寄せられるなど、必ずしも利便性が高いと言い切れません。

さらに、高齢化などによる担い手不足への懸念もあり、今後の見通しが不安定であると考えています。

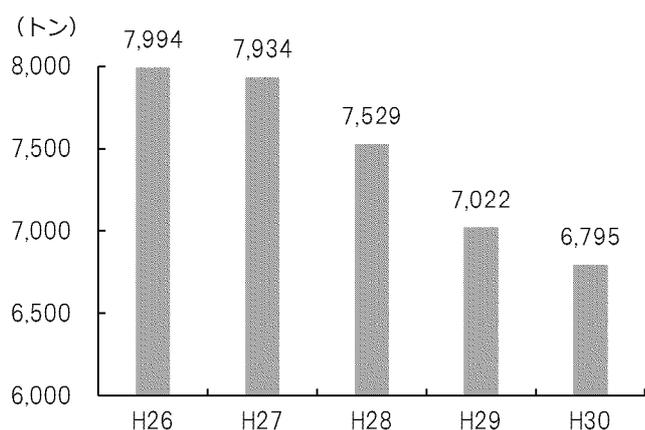


Fig.3 古紙回収量の推移

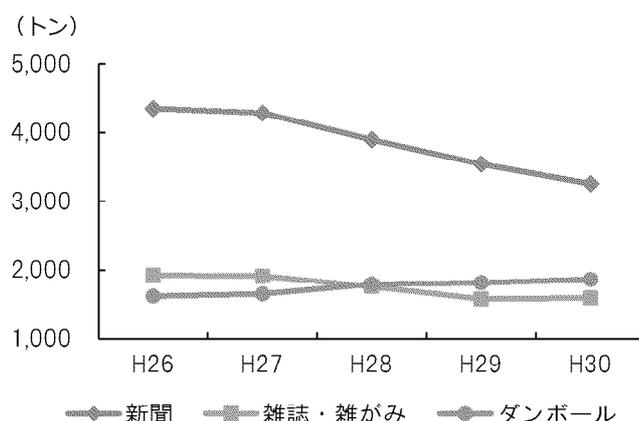


Fig.4 品目別古紙回収量の推移

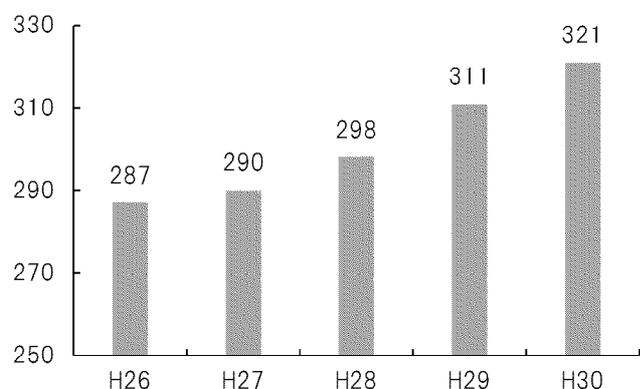


Fig.5 地域資源回収実施団体数の推移

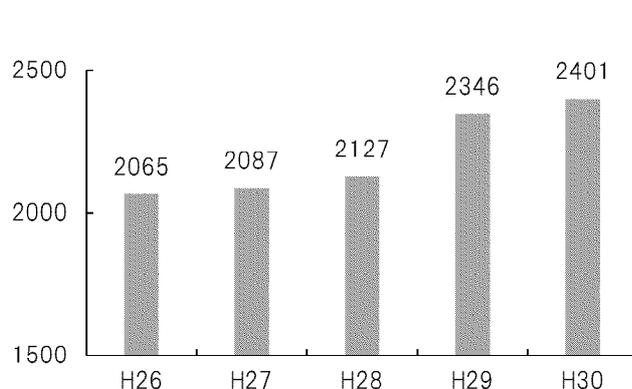


Fig.6 地域資源回収実施回数の推移

## 5. 生ごみのリサイクル状況

平成29年度に導入した生ごみの分別収集により、もやすごみに含まれる生ごみの多くが分別され、もやすごみに占める生ごみの割合が大きく減ると共に、もやすごみの量も大きく減りました。

また、生ごみの分別収集開始後も、生ごみ分別の定着とさらなる推進に向けて、継続して啓発に取り組んでいます。

しかしながら、依然として、生ごみもやすごみに含まれており、もやすごみに占める割合に変化はありません。

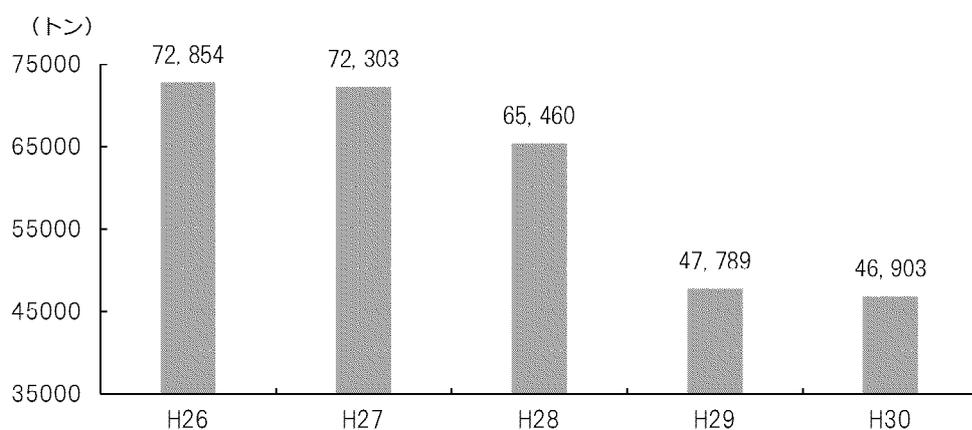


Fig.7 もやすごみ量の推移

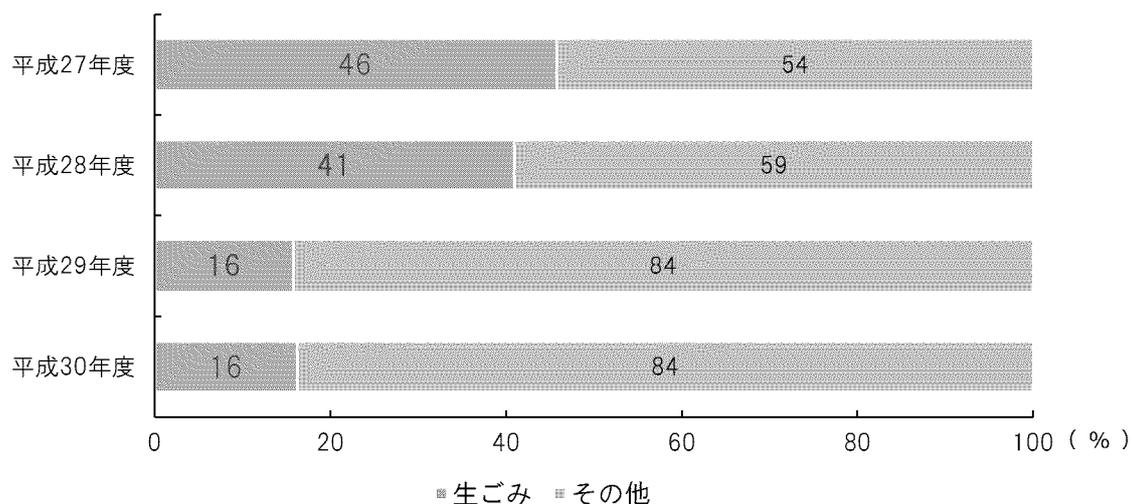


Fig.8 生ごみ分別収集の導入によるもやすごみの分別状況の変化 (%)

## 6. 今後の取り組み

もやすごみに含まれる、生ごみやリサイクルできる古紙の資源化、それに伴うもやすごみの減量に向けて、本市の現状を踏まえ、今後取り組むべきものについてご意見やご提案をお聞かせください。

### 【 ご意見・ご提案 】

< 古紙 >

< 生ごみ >